

株式会社
メディカルシステムネットワーク
MEDICAL SYSTEM NETWORK GROUP

〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目3番地 AKKビル
TEL 011-612-1069(代) FAX 011-612-1068

<https://www.msnw.co.jp/>



MEDICAL
SYSTEM
NETWORK
GROUP

C O M P A N Y P R O F I L E



医薬品ネットワーク事業

調剤薬局事業

賃貸・設備関連事業

給食・訪問看護・医薬品製造販売事業

ちかくにいる。

ちからになる。

メディカルシステムネットワークグループ

良質な医療インフラを創造し

生涯を見守る「まちのあかり」として

健やかな暮らしに貢献します

地域住民の健康を支えるグループとして、医療と生活の基盤を創造すること。

人々の暮らしと心に寄り添い、生きる喜びを支える存在として、いつもそこにいること。

住み慣れた場所で生涯安心して暮らせる「まちづくり」の一翼を担うこと。

すべては、地域の笑顔と未来のために。

グループ事業・グループ会社

OUR BUSINESS & NETWORK

良質な地域医療と健やかな暮らしを、全国に。

グループが一体となって地域包括ケアシステムを実現する、
私たちの事業領域とネットワーク。



医薬品ネットワーク事業

調剤薬局事業

賃貸・設備関連事業

給食事業

訪問看護事業

医薬品製造販売事業

株式会社メディカルシステムネットワーク 本社
株式会社なの花北海道
株式会社北海道医薬総合研究所
株式会社フェルゼンファーマ
株式会社バルテクノ

株式会社なの花東北

株式会社なの花中部

株式会社メディカルシステムネットワーク 東京事務所
株式会社なの花東日本
株式会社ひまわり看護ステーション
アグリマス株式会社

株式会社メディカルシステムネットワーク 大阪事務所
株式会社なの花西日本

株式会社メディカルシステムネットワーク 福岡事務所
株式会社トータル・メディカルサービス
株式会社永富調剤薬局
株式会社さくらフーズ



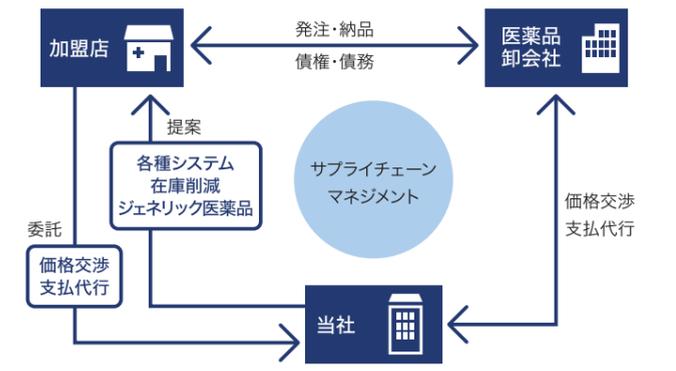
いのちの、
ちからに、
なりたい。

医療人の想いを支えること
それは、地域医療の未来を創ること

業務効率化による経営の安定と 質の高い医療サービスの創出へ

医薬品卸会社との価格交渉、発注、在庫管理、支払代行。薬局をはじめとする医療機関の経営には、本来業務である医療の提供の他に煩雑な周辺業務が伴います。当社は、医薬品卸会社との価格交渉・支払の代行、在庫管理システムの提案、不動医薬品消化サービスの提供などにより、医療機関における周辺業務の合理化・効率化を図ります。

加盟店の皆様が患者さまと向き合い、質の高い医療サービスを提供するための時間の創出・サポートを行うことが、私たちの仕事です。加盟店の皆様、医薬品卸会社とともに周辺業務の効率化・合理化を推進し、医療費の削減につながる医薬品サプライチェーンの構築を追求していきます。



医薬品ネットワーク

医薬品ネットワーク加盟件数 5,676件(2020年7月1日現在)

医薬品購入サポート

医薬品のオンライン発注システムの提供や卸会社との対応業務(価格交渉等)の代行により、医薬品の発注から支払いまでの業務を合理化。また、ジェネリック医薬品への取り組みも強みにバックアップします。

デッドストックエクステンジ (不動在庫消化サービス) 特許取得

オンラインで医薬品の不動在庫をご登録いただくことで、当社が加盟店同士の売買をマッチングし、廃棄ロスを削減。消化実績は平均90%。店舗間での金銭のやり取りなく利用することができます。

在庫管理システム 「メディススVAN」

「メディススVAN」は、医薬品ネットワーク加盟店のみが利用できる独自の医薬品在庫管理システム。医薬品在庫を可視化することで、在庫数を適正に保つことをサポートします。

経営全般を支える 各種サービス

後発品の価格検索機能等を有する加盟店専用ポータルサイトや、加盟店のご要望に応じて、火災保険団体割引、雑誌定期共同購入、新電力、調剤機器の紹介等、各種サービスを行っています。



いのちの、
ちかくで、
支えたい。

いちばん身近な医療人として、
地域の心の拠り所となる「まちのあかり」

「地域薬局」として患者さまに寄り添い、 医薬連携による細やかなケアを実現

地域に根ざした医療サービスの提供を目指し、地域ごとに薬局運営の拠点を配置。全国に展開する薬局が各々、地域のニーズを捉え、地域住民や患者さまに必要とされ、信頼され、愛される地域薬局づくりをすすめています。また、地域を見守る医療・介護チームの一員として薬剤師の専門性を発揮。長年にわたり注力している在宅訪問では、一人ひとりの患者さまの状態について医師や看護師、介護職員など多職種と情報共有・連携することで、よりきめ細やかな薬物治療を実践しています。



なの花薬局

全国に427店舗(2020年7月1日現在)

かかりつけ薬局・ 薬剤師

超高齢社会を迎え、薬局の在り方は常に変革を迫られています。なかでも高齢者の健康管理や薬剤管理は大きな課題の一つに。なの花薬局は、処方薬の管理はもちろん、なんでも相談できる地域の頼れる存在として患者さまファーストの取り組みをすすめています。

在宅訪問・緩和ケア

外出困難な患者さまや高齢の患者さまのご自宅・入居施設への在宅訪問を行っています。薬剤師が細やかな服薬指導とともに、お薬に対する不安を取りのぞけるようサポート。緩和ケアにも力を入れ、住み慣れた場所で自分らしく暮らせるようサポートしています。

地域のニーズに合わせた 薬局づくり

全国展開の「なの花薬局」では、地域特性や医療機関のタイプに合わせた薬局づくりを実現しています。大型総合病院前では、高度な薬学的管理ニーズに対応できる設備や人材の配置を、過疎地域ではグループの強みを活かした無薬局エリアへの出店により地域住民を支えています。

予防・未病・ 健康サポートへの取り組み

- ・管理栄養士・栄養士による栄養相談
- ・運動プログラム「NANO-Fit」の実施
- ・健康フェアの開催
- ・OTC/健康食品の展開

いつまでも、
生きる喜び、
届けたい。

住み慣れた地域で、安心して暮らし続ける

地域と連携し生涯を見守る「まちづくり」を

地域に求められる 「医」「食」「住」のインフラを提供

医療と生活を支える拠点を、地域の特性に応じて開発・運営しています。例えば、医療機関の集積施設であるメディカルモールでは、新たに開業を希望する医師の想いと地域の医療ニーズをマッチングさせることを大切にしています。

また、サービス付き高齢者向け住宅の「ウスタリア」シリーズでは、介護施設としての機能に加え、充実した医療や誰でも利用できるレストランなどを設けています。一人ひとりの「自分らしさ」を支えられるように、地域と高齢者の方々が本当に求める「医」「食」「住」を提供します。



医療モール開発

複数の医療機関をまとめ、患者さまには専門医の安心感と利便性を、開業医には効率的な施設運営や集患面の相乗効果を提供。地域特性に応じて、ビル型、ヴィレッジ型など様々な形態で展開しています。

サービス付き高齢者向け住宅

「高齢者住宅+医療機関+調剤薬局」を中核として、介護事業所や保育所、文化施設など、様々な機能を付加し、入居者の安心な暮らしと、地域のこれからの支える拠点を創っています。

医師開業支援

開業を希望する医師と入念な打合せを行い、医療機関経営の理念を理解したうえで、事業計画の立案、診療圏調査、不動産物件の選定、設計・施工・開業申請まで一貫してサポートします。

その他のサービス

・医療機関、高齢者住宅等の建築設計・施工
・医療機器・調剤機器のリース、カーリース等
・個人から企業まで様々なニーズに対応する保険代理店



給食事業

毎日の「食事」を通して、
患者さま・ご利用者さまの健康を支える

「温かいものを温かいうちに」をモットーに、安心・安全で心のこもった食事の提供を、病院や福祉施設などで行っています。毎日の食事を通して、患者さま・ご利用者さまの健康維持や回復の支えとなること、また、一人でも多く「おいしい」といっていただける食事を提供できるよう、日々栄養士や調理師のスキルアップに取り組んでいます。



訪問看護事業

専門的な看護ケア・アドバイスにより
在宅での療養生活をサポート

病気や障がいのある方が住み慣れた場所で自分らしく療養生活を送れるよう、看護師などがご利用者様の自宅を訪問し、病状・療養生活を援助。24時間365日、ご家族にも安心して過ごしていただけるよう支援します。また、なの花薬局・薬剤師をはじめ、主治医や介護従事者などと連携し、地域に密着した質の高い看護を提供しています。



医薬品製造販売事業

高品質なジェネリック医薬品を
安心とともにお届けする

患者さまの医療費の負担を抑え、わが国の医療制度を維持するため、数多くのジェネリック医薬品の中から、安心してご使用いただける確かな品質のお薬を製薬メーカーと協力し、薬局で患者さまの手に渡るまで、責任をもってお届けしています。また医薬品のパッケージなどの表示は、医療過誤防止のため薬局の意見をとりいれています。

FELDSENF PHARMA





地域住民のQOL (Quality of Life) 向上と持続可能な社会への 貢献を目指して

私たちは超高齢社会を迎えた我が国において、地域住民の健康を支える様々な事業を通じて社会課題の解決に取り組んでいます。地域との絆を深め、健康意識の啓発や医療技術の発展、スポーツを通じた健康増進、文化・芸術活動などの社会貢献活動を推進していきます。



共同研究・寄附講座

医療や看護の現場が病院から在宅へと移行していく中で、地域包括ケアシステムの担い手である私たちは、地域の基幹病院との連携が欠かせません。更なる連携拡大に向けて、大学などの教育研究機関との共同研究や寄附講座の開設を通じ産学協同の取り組みに注力しています。



移植医療の推進・普及啓蒙

移植医療に関する正しい知識の普及啓発や、医療機関、移植者・臓器提供者を支援する体制の構築を目指して、北海道全域の大学や医療機関が結集して作られた北海道移植医療推進財団の活動を支援しています。



社会福祉フォーラム

少子高齢化や保育所不足、社会保障の問題など、地域が考えるべき「福祉」について、主催する北海道内の4つの社会福祉法人とともに、自治体や新聞社等の後援を得て継続的にフォーラムを開催しています。



障がい者雇用

障がい者一人ひとりの個性に応じた働き方を実現するグループ各社での雇用促進を進めています。また、社会福祉法人や自治体、株式会社ツムラの協力のもと、障がいのある方とともに漢方の主要生薬「茯苓(ブクリョウ)」の国産化に取り組む農業生産法人てみるファームの活動を支援しています。



スポーツを通じた健康増進

ラグビーをはじめとする地域のクラブチームの活動支援、スポーツ大会への協賛、小学校でのスポーツ指導に関するボランティア活動などを通じ、子どもの健全な育成や体力向上、国際交流、アスリートのセカンドキャリアを支援しています。



文化・芸術活動

サービス付き高齢者向け住宅ウスタリア等のグループ施設において、交響楽団を招いたコンサートや朗読劇の開催、地域の小学生や演奏家に対して演奏会場を提供し、文化・芸術活動を支援しています。



地域の笑顔のために、 社員が笑顔になる会社へ

私たちは、医療と健康に携わるプロフェッショナルとして、地域の人々の気持ちに寄り添い、笑顔ある暮らしを支えます。そのためには、まず社員が笑顔であること。社員一人ひとりの活力を引き出し、多様な働き方を認め、心豊かな生活を送れるよう、働きがいのある職場を創ります。

健康宣言

メディカルシステムネットワークグループは、地域の人々の健やかな暮らしを支える企業として、社員と家族が心身ともに健康であることが最も重要と考えています。私たちは、グループ全体で健康意識を高めるとともに、健康づくりの支援と職場環境の整備に取り組むことを約束します。



- ① 「なの花フォーラム」(紀尾井カンファレンス・東京)
- ② 研修保養施設「倶楽部 錦渓」(札幌市定山溪温泉)
- ③ グループ理念・行動指針策定ワークショップ
- ④ 社員が自主的に立ち上げ参加できる「社内公認サークル」活動風景





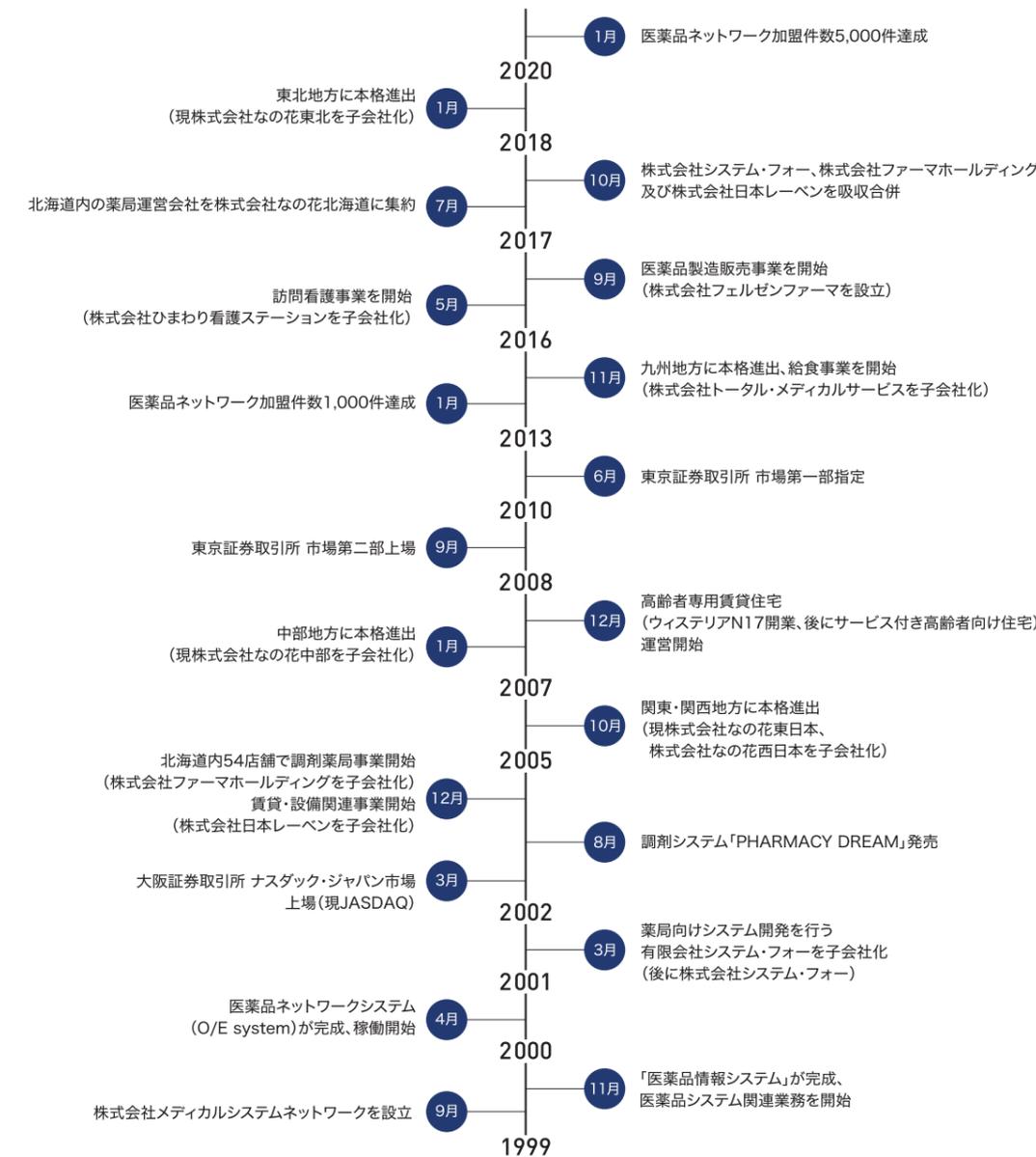
代表取締役社長
田尻 稲雄

田尻 稲雄

株式会社メディカルシステムネットワークは、1999年に医薬品流通・調剤薬局・システム開発の3つの事業が集結してスタートしました。創業時に掲げた理念は、医薬品の効率的なサプライチェーンマネジメントを実現することにより、将来にわたって持続可能な社会インフラを構築し、地域の医療と健康な暮らしを守ることです。それ以来、私たちは事業の幅を広げながら成長を続けてきました。今では、医薬品ネットワーク事業と調剤薬局事業を中核として、医療モールやサービス付き高齢者向け住宅、給食・訪問看護・後発医薬品など、

地域の医療を支える様々な事業をグループで展開しています。この間、社会情勢は大きく変わりました。超高齢社会の進展に伴い、社会保障費の抑制や地域包括ケアシステム構築の必要性・緊急性が増しています。私たちの事業は、これからの社会課題の解決のため、今後ますます必要とされることでしょう。地域の人々が安心して自分らしく生きていけるように。私たちはこれからも進化を続けていきます。メディカルシステムネットワークグループにご期待ください。

HISTORY グループの歩み



OUTLINE 会社概要 (2020年3月31日現在)

商号 株式会社メディカルシステムネットワーク(証券コード:4350)
 本社所在地 〒060-0010 札幌市中央区北10条西24丁目3番地
 AKKビル
 TEL 011-612-1069(代) FAX 011-612-1068
 設立 1999年9月16日
 資本金 2,128百万円
 代表者 代表取締役社長 田尻 稲雄
 決算期 3月31日
 事業内容 医薬品ネットワーク事業
 調剤薬局事業
 賃貸・設備関連事業
 給食事業
 訪問看護事業
 医薬品製造販売事業

医療、介護、そして福祉へ…

私たちは、ひろがり続けます。
 私たちは、つながり続けます。

自らの手で良質な医療ネットワークを築き、
 地域の人々が一生涯、安心して暮らせる未来を創るために。

自分たちが「まちのあかり」となって人々の心に寄り添い、
 一人ひとりの「自分らしく生きる」を支え続けるために。

誰よりもちかくで、ちからになる。

————— すべては、地域の笑顔と未来のために。—————